

9. がん予防と生活習慣病予防

大阪市民のがんによる死亡は、死因の第 1 位であり、全国同様男女とも死亡率が高くなっています。このため、喫煙、食生活、運動その他の生活習慣の改善が健康に及ぼす影響など、がんについての正しい知識の普及と胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がん検診による早期発見・早期治療の推進等を目的とした「大阪市がん予防推進条例」（平成 23 年大阪市条例第 46 号）を平成 23 年 10 月 1 日に施行しています。

また、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病が増え続けています。生活習慣の改善を目的とした一次予防の推進に努めるとともに、生活習慣病の早期発見・早期治療を目的とした特定健診や特定保健指導などの二次予防を平成 20 年 4 月から実施しています。

《一次予防》

- * 「栄養・食生活」：生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育む『食育』の推進
- * 「身体活動・運動」：運動習慣の定着
- * 「たばこ」：喫煙率の減少や各種疾患の予防に向けた啓発の推進 など

《二次予防》

- * 「特定健診」：40 歳から 74 歳までが対象、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健康診査。

（1）検診の種類と対象年齢等

検診の種類	対象年齢	検診費用	検診内容
胃 が ん 検 診	50 歳以上の方	500 円	胃部 X 線撮影（造影）
		1,500 円	胃内視鏡検査
大 腸 が ん 検 診	40 歳以上の方	300 円	免疫便潜血反応検査
肺 が ん 検 診	40 歳以上の方	無料	胸部 X 線撮影
※50 歳以上の喫煙ハイリスク		400 円	喀痰細胞診検査
乳 が ん 検 診	30 歳代の女性 取扱医療機関のみで実施	1,000 円	視触診及び超音波検査
	40 歳以上の女性	1,500 円	マンモグラフィ
子 宮 頸 が ん 検 診	20 歳以上の方	400 円	子宮頸部細胞診検査
前 立 腺 が ん 検 診	50, 55, 60, 65, 70 歳の男性	1,000 円	PSA 検査
骨 粗 しょう 症 検 診	18 歳以上の方	無料	踵骨超音波測定法（QUS 法）
特定健診（大阪市国民健康保険加入者が対象）			
特 定 健 診	40 歳から 74 歳までの方	基本項目 無料	身長、体重、BMI、腹囲、診察、血圧、血液検査（脂質、血糖、肝機能、腎機能）、BMI、尿検査（蛋白、糖）
	医師が必要と判断した方	詳細項目 無料	貧血検査、眼底検査、心電図

（受診間隔等）

- ・ 胃（X 線）・大腸・肺・乳（超音波）がん、骨粗しょう症検診は年度中 1 回の受診。
- ・ 乳（マンモグラフィ）・胃（内視鏡）・子宮頸がん検診は 2 年に 1 回の受診。

(2) 各種検診の受診状況

(令和5年度)

	実施区分等	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮がん	乳がん	前立腺がん	特定健診
天王寺区	保健福祉センター		259	177		224		
	医療機関	479	1,318	1,192	4,678	2,209	200	
	計	479	1,577	1,362	4,678	2,433	200	2,379
	対象人数	45,206	45,206	45,206	36,855	25,181	2,337	8,977
	受診率	1.8	3.5	3.0	12.7	9.7	8.6	26.5
大阪市	保健福祉センター		9,770	7,837		12,476		
	医療機関	19,796	54,041	46,545	115,907	53,566	5,548	
	計	19,796	63,811	54,382	115,907	66,042	5,548	82,939
	対象人数	1,615,622	1,615,622	1,615,622	1,223,537	852,174	86,310	328,136
	受診率	2.1	3.9	3.4	9.5	7.7	6.4	25.3

※子宮頸がん検診受診率＝{ (前年度受診者) + (今年度受診者) - (2年連続受診者) } / 対象人口 × 100

乳がん検診受診率＝{ (今年度超音波受診者) + (前年度マンモ受診者) + (今年度マンモ受診者) - (2年連続受診者) } / 対象人口 × 100

(3) 各種がん検診の判定結果別状況

(ア) 胃がん検診

50歳以上の方を対象に取扱医療機関で実施しています。

《胃部X線検査判定結果》

(令和4年度)

実施区分	受診者数	異常なし	要精検
医療機関実施	320	305(95.3%)	15(4.7%)

《内視鏡検査判定結果》

(令和4年度)

実施区分	受診者数	異常なし	要精検
医療機関実施	166	137(82.5%)	29(17.5%)

(イ) 大腸がん検診

40歳以上の方を対象に保健福祉センター及び取扱医療機関で実施しています。

《判定結果》

(令和4年度)

実施区分	受診者数	便潜血検査陰性	要精検
保健福祉センター実施	254	244(96.1%)	10(3.9%)
医療機関実施	1,379	1,274(92.4%)	105(7.6%)
合計	1,633	1,518(93.0%)	115(7.0%)

(ウ) 肺がん検診

40歳以上の方を対象に保健福祉センター及び取扱医療機関で実施しています。

検査は、胸部エックス線検査を受診者全員に実施し、ハイリスク者(※)には喀痰検査も実施しています。

※ハイリスク者

・50歳以上で喫煙指数(1日あたりの喫煙本数×喫煙年数)が600以上の方

《判定結果》

(令和4年度)

実施区分	受診者数	異常なし	要精検
保健福祉センター実施	97	94(96.9%)	3(3.1%)
医療機関実施	1,168	1,074(92.0%)	94(8.0%)
合 計	1,265	1,168(92.3%)	97(7.7%)

(エ) 子宮頸がん検診

20歳以上の女性を対象に取扱医療機関で実施しています。

なお、受診間隔は2年に1回となっています。

また、令和5年度も、「がん検診推進事業」として、基準日に住民基本台帳及び外国人登録台帳に登録されている一定の年齢の方に対して、検診費用が無料になるクーポン券を送付しました。

《判定結果》

(令和4年度)

実施区分	受診者数	異常なし	要精検
医療機関実施	2,371	2,315(97.6%)	56(2.4%)

(オ) 乳がん検診

30歳代の女性を対象に超音波検査を、また40歳以上の女性を対象にマンモグラフィ検査を、保健福祉センター及び取扱医療機関で実施しています。

受診間隔は、超音波検査については毎年、マンモグラフィ検査については2年に1回となっています。

なお、令和5年度も、「がん検診推進事業」として、基準日に住民基本台帳及び外国人登録台帳に登録されている一定の年齢の方に対して、検診費用が無料になるクーポン券を送付しました。

《超音波検査判定結果》

(令和4年度)

実施区分	受診者数	異常なし	要精検
医療機関実施	404	385(95.3%)	19(4.7%)

《マンモグラフィ検査判定結果》

(令和4年度)

実施区分	受診者数	異常なし	要精検
保健福祉センター実施	90	83(92.2%)	7(7.8%)
医療機関実施	975	898(92.1%)	77(7.9%)
合 計	1,065	981(92.1%)	84(7.9%)

(カ) 骨粗しょう症検診

寝たきり等の原因ともなる骨粗しょう症を予防するため、18歳以上の方を対象に骨粗しょう症検診を保健福祉センターで実施しています。

《判定結果》

(令和5年度)

実施区分	受診者数	正常域	経過観察域	要精検
保健福祉センター実施	423	202(47.7%)	169(40.0%)	52(12.3%)